



みたか環境ひろば

令和5年10月号 vol.85

みんな読んでね！



1

もっと知ろう！みたか！～みたかのみかた～

ー環境活動推進会議委員研修を終えてー

みたか環境活動推進会議委員に任命された私は、もっともっと三鷹の事を知りたくなり、みたか環境活動推進会議委員研修に参加し、市内の環境関連施設の見学を行いました。見学先は以下の三か所です。皆さまもご覧下さい。

§ 1. みたかの自然@大沢の里

古民家について最新の保存法で防災対策が施してある事、また、わさび田においては希少種である事、また、みたか紫草復活プロジェクトにおいて紫草の育成、紫根による江戸紫染色と、みたかの自然文化遺産について学びました。それぞれの活動に地域の学生さんなどもっと活動の間口が広がると良いなと感じました。

§ 2. みたかの環境対策@株式会社SUBARU東京事業所

電気自動車への取組み（実車見学を含む）及び地域連携についてフードバンクへの災害備蓄品の寄付などの取組みについて紹介して頂きました。三鷹中央防災公園・元気創造プラザで実施している屋上や壁面の緑化を東京事業所の建物でも実施出来れば良いなと感じました。

§ 3. みたかのごみ処理@ふじみ衛生組合リサイクルセンター

プラスチック及び不燃ごみの手選別工程において、作業環境の過酷さを目の当たりにし、ごみの減量化、選別の徹底を改めて肝に銘じました。また熱源のリサイクルなど二酸化炭素の削減、SDGsな取組みについて学びました。日々コツコツ実践が大切です！！
（並河）



株式会社SUBARUにて環境配慮車の見学



大沢の里古民家



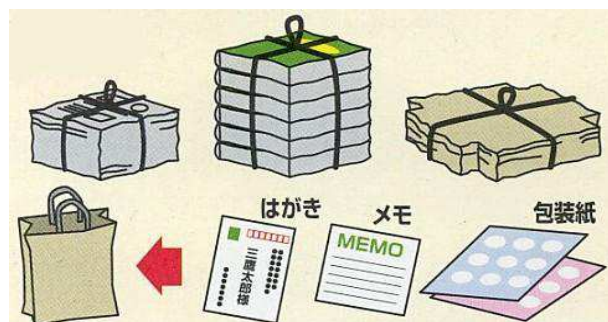
リサイクルセンターにてごみの手選別工程の見学

2

ゼロカーボンに向けて

みなさんは、三鷹市がゼロカーボンシティ宣言をしていることをご存じでしょうか？ 私は、みたか環境活動推進会議に今年参加するまで知りませんでした。2050年までに、生産、消費、運送などの活動に伴う二酸化炭素（CO₂）排出量を実質ゼロにすることを目指しています。壮大な話で、個人で何が出来るのか分からなくなりましたが、燃やすものを減らす事は出来るのではとリサイクルに思い至りました。我が家では、紙を右のイラストのようにまとめて資源回収に出しております。

初歩的なお話で大変恐縮ですが、皆さんも出来ることから参加してみませんか。（藤沢）



3

燃料電池車って

トヨタモビリティ東京では「安心安全でサステナブルな社会の実現」に向け、SDGsの取り組みを通して、お客様や地域の皆様に貢献出来る活動を行っています。今回は燃料電池車についてご案内します。

トヨタでは究極のエコカー水素で走るMIRAIを扱っております。走行時に発生するのは水で、騒音も少なく、とっても環境にやさしい車です。そして、航続距離も長く通常の自動車と同じように乗ることができ、安心してご利用いただけます。万が一の時には給電も可能、災害の多い近年身近にあると安心ですね。昨年度のふじみまつりでは、みつろうラップ作りで給電車として活躍しました。

また、子供向けには燃料電池教室を三鷹ネットワーク大学で開催(8月20日)もさせていただきました。内容は、環境問題（石油資源の現状）について/水素生成実験/MIRAIの仕組みを学び、ラジコンカーで燃料電池を体験するものでした。

写真は水素で走るラジコン、小さなお子様にも興味を持っていただきました。

小さいころから環境に意識を少しでも持ってもらえたのではないのでしょうか。

（吉永）



4

マイクロプラスチック汚染とワンウェイプラスチック削減

昨今、2050年には魚の量よりも海洋プラスチックごみが多くなるとも言われている。一体どれくらいの量になるのかイメージしてみてもいい。容器包装等に用いられている廃プラスチックがマイクロプラスチック化(5mm以下のプラスチック)し、生物濃縮を伴う食物連鎖により魚介類等を通じて、最終的に人間にばく露されるリスクが懸念されている。では、なぜマイクロプラスチック汚染が問題なのか。それは、波風など海洋環境によりマイクロプラスチック化するプロセスにおいて、プラスチックに含まれていない有害化学物質を吸着させる特徴があり、また様々な機能をもたせるために添加剤が入っているが、本来人間の体内に入ること想定していない有害化学物質にさらされるリスクがあるからである。

このマイクロプラスチックは、5mm以下で製造・加工された「1次マイクロプラスチック」と5mm以上の大きさのプラスチックが紫外線や波風により微細化する「2次マイクロプラスチック」に大別される。

具体的に、前者は歯磨き粉や洗顔剤などに研磨剤として入っているマイクロビーズなどを挙げることが出来る。また、後者は、レジ袋や食品等の容器包装プラスチックなどが自然環境の中で分解・微細化していくことで生じる。特に2次マイクロプラスチックは、一度使用すると廃棄される使い捨ての「ワンウェイプラスチック」であることが多く、海洋プラスチック汚染の原因にも繋がることから、これらのプラスチック製品を普段からできる限り使用しない工夫が今後求められている状況である。（中山）

次回の発行は令和6年1月の予定です

発行：みたか環境活動推進会議
(愛称) みんなの環境

連絡先：三鷹市生活環境部環境政策課

電話：0422-29-9612(直通)

E-mail：kankyo@city.mitaka.lg.jp

本誌は、市役所、市政窓口、図書館、コミセンや市のHPから入手できます。

